



平成12年度まで福島県綱引選手権大会8連覇中で、全国綱引大会へ8年連続出場し「スポーツの町 東和」を全国へアピールしている木幡弁天クラブ。

“運動会での競技”と言ったイメージがある綱引に、団体競技スポーツ（選手8人で合計体重600kg以下）として取り組んできたメンバーたちは、「苦しいことを楽しく仲良く」をモットーに、それぞれが勤務を終えてからの夜間に熱の入ったトレーニングを積み重ね、県内横綱チームへと成長してきました。

全国大会出場を機に地域一体となった後援会も設立され、クラブの支援活動を行っています。全国大会時には大応援団を送り込み、木幡の幡祭りの旗と太鼓をとどろかせる豪快な応援は、全国綱引大会のアトラクション、応援コンクールで日本一の表彰を受けました。

綱引競技を通し、地域活性化のしるべとして、「引く東和」の風紋がさらに大きく描かれていきます。

力の限り“引く東和”が、気力とパワーを全国へアピール。…●木幡弁天綱引クラブ